

東北学院大学 南津島民俗調査プロジェクト 浪江町南津島地区



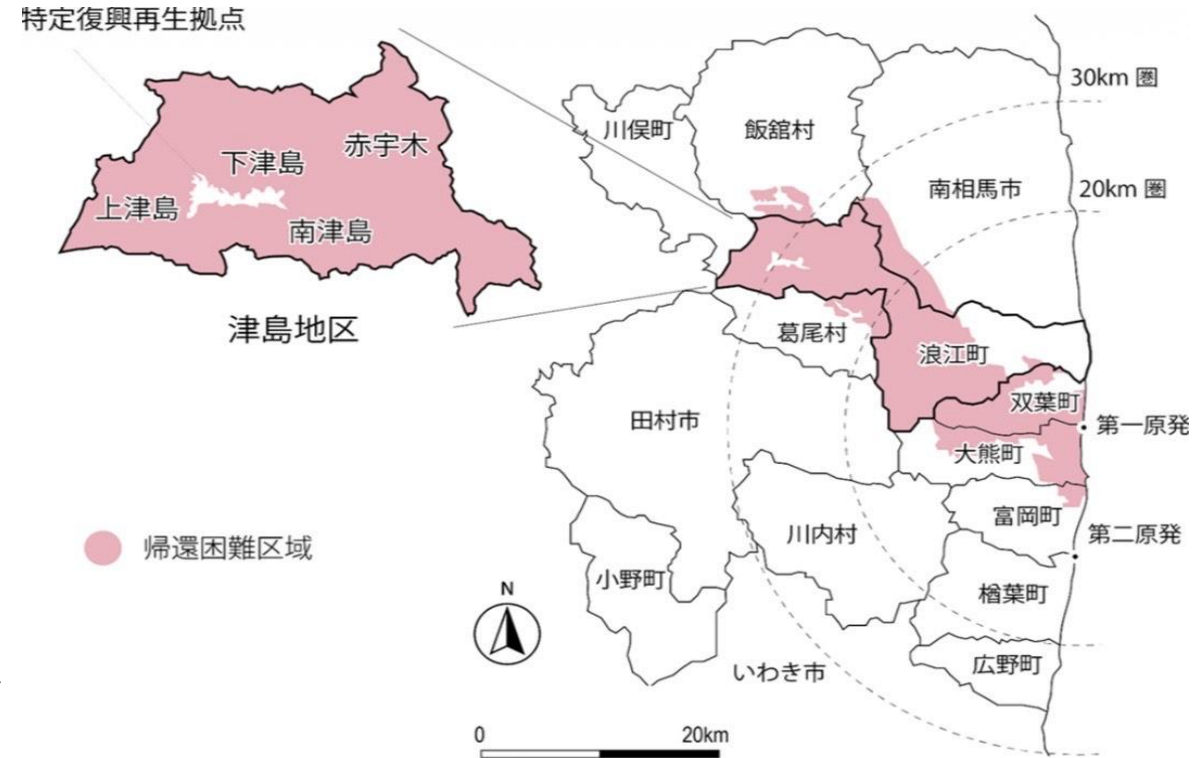
1. 地区の概要と課題

<課題>

- ・ 原発事故により帰還困難区域に指定され、現在も避難が継続
- ・ 民俗文化や民俗芸能を継承していくことが困難

<前年度まで>

- ・ 3年間にわたって民俗芸能の継承支援を中心とした活動を行う
- ・ 東北学院大学博物館での企画展示、ガイドブック作成



2. 今年度実施した取り組みの内容

＜学生のための練習（今年度約20回）＞

授業内で、先輩方からご指導のもと練習
映像を見ながらの自主練習

＜学生と保存会の練習・交流活動＞

定期的に学生と保存会が集合し練習
二本松市民交流センター（6月22日、7月6日、
9月28日）
名取市文化会館（1月8日）



学生と保存会の合同練習 8月29日～31日/福島県男女共生センター

田植踊り、神楽・岡崎の練習、着物の着付けの練習を行った



出演したイベント

- ・ つしま肉まつり（田植踊り、神楽・岡崎）

10月19日/@つしま活性化センター（浪江町津島地区）

- ・ ふるさとの祭り（田植踊り）

10月26日/@道の駅なみえ（浪江町）

- ・ 全国民俗芸能大会に向けた公開講演会（田植踊り、神楽・岡崎）

11月16日/@東北学院大学

- ・ 全国民俗芸能大会（田植踊り、神楽・岡崎）

11月22日/@日本青年館ホール

- ・ つしま冬まつり（田植踊り、神楽・岡崎）

1月17日/@つしま活性化センター（浪江町津島地区）



つしま肉祭り2025



ふるさとの祭り2025

全国民俗芸能大会（日本青年館ホール）



舞台中の様子



表彰を受ける専次郎会長

3. まとめ

- 昨年度までの活動の中心であった卒業生からプロジェクトの継承を行った
- 今年度の大舞台となった「全国民俗芸能大会」を無事に終えることができた
- 学生は今年度から田植踊りにふれる人がほとんどであったが、練習を重ねていくなかで、保存会の皆様と舞台上で共演できるレベルに仕上げることもできた
- 必要なサポート活動を滞りなく実施した

4. 今後に向けて

【支援活動】

- 保存会が必要とする支援活動を継続していく

【継承活動】

- 着物の着付けや踊り方など、これまで学んだ記録を整理し、学生間（先輩から後輩へ）の継承活動を行う

【新たな展開】

- 新しい継承を試みる外部の団体と交流を行う
- これまで取り組んできた成果を学術書にまとめる

ご清聴ありがとうございました

